

第2回 一般廃棄物最終処分場の候補地選定に係る住民説明会概要

1 日 時 令和6年5月11日（土）10:00～11:30

2 場 所 名取市役所3階 第1～第4委員会室

3 参加者

（1）市民15名（地区別：閑上1名、館腰5名、愛島9名）

（2）小畑生活経済部長、朽木クリーン対策課長、石川クリーン対策課長補佐、高梨主事

4 説明事項

（1）候補地選定の進め方について

（2）建設可能エリアについて

<質疑応答（要約）>

（1）最終処分場の概要、現状などに関する質疑

Q1 どのような施設になるのか、方向性は決まっているのか。

A1 まだ決まっていない。最終的な候補地を絞る際、関係する地域住民の方のご意見を亘名組合に伝える。また建設コストについても亘名組合で構成市町の首長や議会で議論されるところと考えている。

Q2 名取市は最終処分場をつくらなければならないのだろうが、オープン型かクローズド型か、施設の概要が分からないから住民は心配になるのではないか。

A2 最終処分場は名取市につくるということで進めている。オープン型かクローズド型か、最終的な決定はしていない。

Q3 つくる場所や構造など、どのようにつくれば環境問題が起きないような施設になるという話があってもよいのではないか。

A3 詳細調査により具体的にわかってくるのではないかと考えている。

Q4 オープン型かクローズド型か、どちらがよいと考えているのか。

A4 市としては住民感情を考えた場合クローズド型の方が安全安心であり望ましいと考えているが、どちらでつくるかは決定していない。

Q5 オープン型かクローズド型かが決まっていれば判断できる住民もいると思う。このことが決まっていなくて住民説明会を実施しても反対意見が増えてしまうのではないか。

A5 住民説明会で施設や水処理などのご意見をいただいた上で、亘名組合に伝えていく。また、最終的な候補地は、説明や要望調整をしながら絞り込みしていきたい。

Q 6 どういう施設になるのかが分かるのは、最終的な候補地が決まってからになるのか。

A 6 詳細調査の段階で概算はお示しできるのではないかと考えている。

Q 7 最終処分場の予算の上限はどのくらいを見込んでいるのか。

A 7 以前小塚原地区の検討の際は、建設予定額が89億から190億となり2市2町の首長の会議で予算オーバーという判断になったことはあったが、今回の許容される整備コストはまだ決まっていない。

(2) 詳細調査・詳細調査前の地元説明に関する質疑

Q 1 詳細調査の内容について。

A 1 亘名組合が実施することになる。調査内容項目はこれから決めていく。

Q 2 詳細調査の前に関係地域との合意形成を図るべき。

A 2 調査に入る前に、建設可能エリア5カ所の関係地権者や周辺住民にお知らせしながら進めていく。

Q 3 順番として地元説明会や全体説明会は候補地を1カ所に絞ってから行うのか。

A 3 1カ所に絞る前に、建設可能エリア5カ所と市域全体の説明会を行う。

(3) 建設可能エリアに関する質疑

Q 1 建設可能エリア7は圃場整備されている場所だが、候補地として選定された場合、近隣の農地への風評などの影響をどう考えているか。

A 1 仮に最終処分場の候補地となっても、周囲に影響を与えない工法で建設する。安全安心できるよう十分配慮したいと考えている。

Q 2 横浜には海岸に最終処分場があると聞いている。名取市でも以前海岸に近い地域につくろうとして頓挫しているが、5カ所に絞られた経緯を伺いたい。

A 2 今回改めて名取市内全域を対象として、再度候補地を選び直すこととなった。現段階では、法的規制区域等を除外した結果、建設可能エリアとして5カ所選定した。

Q 3 愛島地区に元クリーンセンターや埋立地があったころ、名取市と愛島地区は長年このことで揉めてきた経緯がある。その中で今後ごみ処理施設は愛島に持ってこないよう要望していたが、今回5カ所のうち3カ所が愛島地区にあるというのは違和感がある。過去の経緯を十分考慮してほしい。

A 3 現時点でこの3カ所を除外することはできないが、過去の経緯も含めて関係地域の方といろいろお話させていただきたいと考えている。

(4) 候補地選定委員会に関する質疑

Q 1 候補地選定委員会では候補地を絞るのか。合意形成はどのように考えているのか。

A 1 候補地選定委員会の役割は候補地を決定するものではなく、様々な調査の結果や専門的な知見から意見をいただくものであり、候補地を決めるのは名取市である。該当する地域の方に説明しご理解をいただきながら進めていきたい。

(5) ご意見として承ったもの

意見 1 候補地選定委員会の現地調査について、何回も現地に足を運んでもらい近隣の状況を確認してほしい。

意見 2 愛島の山間部に整備されると、最終処分場からの汚れた水が下流に流れて飲料水や農業用水に影響を及ぼすので、平地や海の近くに整備すべき。

意見 3 最終処分場をつくるなどとは言っていない。建設コストの問題はあるが、愛島の山間部に最終処分場を整備することに反対だ。これまでの経緯も釈然としないものがある。

意見 4 どんな立派な施設をつくっても経年劣化し、最終処分場の排水も地下浸透してしまうのではないかと。名取市には健康と命を最優先に考えてもらいたい。緑地環境保全地域になっている山間部は除外してもらいたい。

意見 5 クローズドで整備したとしても経年劣化する。福島ではアルプス処理水を海に流しているように、最終処分場で処理した水を海に流せるよう海沿いに整備してほしい。

回答 本日の説明会では、場所の話ばかりになってしまい、施設やその構造、排水処理といった説明が無かったことが皆さんの心配につながってしまったと思う。私たちは皆さんの心配の無いような施設整備を目指していく。ただ、最終的な候補地を絞り込んでいくときに、関係地域の皆さんからご理解を得るため、いろいろ要望等をお聞きすることになる。さらに頂いたお話は亘名組合に要望していく。

ただこれらのことは私たちも十分意識して進めていくが、一方で名取市だけの予算で施設整備するわけではなく、2市2町で負担が伴うわけで、それぞれの首長や選出されている議会の議員さんの判断で最終的に決まっていくということもご理解いただきたい。